

患者と医師をつなぐインターフェイス・デザイン

朝日レントゲン工業株式会社が開発した歯科用デジタル画像情報ソフトウェア [NEO PREMIUM]が、2010年度のグッドデザイン賞を受賞しました。この開発を担当した技術部技術課の服部政幸副課長にお話を伺いました。

グッドデザイン賞で高い評価

本ソフトウェアは歯科用デジタルレントゲン装置やその他の歯科用デバイス（口腔内カメラ、位相差顕微鏡）等を操作したり、その画像の取り込みや加工だけでなく、患者情報の管理までを一括して行うことができるもので、患者と医師が積極的に話し合い、治療を検討するためのツールとしてのデザイン表示が高く評価されています。

ソフトウェアのデザイン

朝日レントゲン工業株式会社は元来歯科用X線撮影装置の専門メーカーですが、10年程前から高度な歯科診療を目指して、デジタル画像情報ソフトウェアの開発にも乗り出しました。

「X線撮影装置はまず画像の性能が第一ですが、歯科医院でデジタルパノラマ撮影やIT化が進んできたため、これらを使いやすく管理する必要が出てきました。そこで、撮影装置と連動して、画像や患者情報も管理できるソフトが望まれるようになりました。ソフトの操作者は歯科医師だけとは限らず、パソコンに不得手な歯科衛生士等も操作することを念頭に、一目で分かりやすいアイコンによる操作が主体になるよう設計し、発売後もユーザーの声を反映させながら改良を加えていきました。」と開発を担当した技術部技術課の服部政幸・副課長は語られます。

デザイナーとの協力

服部氏は技術者ですが、開発の初期には自らアイコンのデザインも行っていました。「2代目ソフトのモデルチェンジからデザイナーにも参加いただき、協力して開発を行うようになりました。デザイナーは歯科医院のロゴマークや内装デザインなどに実績のある方で、歯科医院の医療現場を良く把握されていたことが成功の一因と思っています。デザイナーに参加いただくことによって、高級感が向上したと感じています。」と説明されます。



写真1 歯科用デジタル画像情報ソフトウェア [NEO PREMIUM]

優れたユーザーインターフェイス

本ソフトの強みは他社に類をみないユーザーインターフェイスにあります。「操作にはマウスでなくペンタブレットを採用し、手袋をしたままでも使えるようにしました。クリック数も少なくなるよう工夫しています。これまで複雑であった撮影オーダーも、診療台からの操作だけで撮影種別・部位を指定して撮影することができます。また描画ツールを備えており、医師の患者さんへの説明が、わかりやすく表現できるようサポートしています。」



写真2 撮影した画像を自動的に診療台のパソコン画面に表示できる。

今後の課題と抱負

「これまで『より高度な製品』を追求してきましたので、機能が増えずぎてきたように感じています。今後は用途を絞り、低価格な製品も必要ではないかと考えています。」

歯科医療では、専門的な領域故に、正しい状況を把握しきれないまま、促され納得しないで治療を受けてしまうこともあります。これから[NEO PREMIUM]のようなソフトは、患者と医師が積極的に話し合い、治療に向きあえるよう、医療現場を改善してくれるのではないのでしょうか。

DATA

朝日レントゲン工業株式会社

所在地 〒601-8023 京都市南区久世築山町376番地の3
創業 1956年
資本金 1億円
従業員 168人
事業内容 歯科用を中心とするX線撮影装置の開発・製造・販売
デジタル画像情報ソフトの開発・製造・販売
非破壊X線検査装置の開発・製造・販売
TEL 075-941-4371
FAX 075-934-3910

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
企画連携課 情報・デザイン担当

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9497
E-mail:design@mtc.pref.kyoto.lg.jp